

社会貢献活動

尼崎21世紀の森づくり協議会での活動

尼崎21世紀の森づくり協議会は、尼崎市、及びNPO法人によって構成されている団体で、尼崎市の臨海地域(国道43号線から南の地域、当社尼崎地区事業所も該当)における自然を蘇らせ、緑あふれた元気なまちづくりに取り組む『尼崎21世紀の森づくり』活動を行っています。

その活動の一環として、2010年8月に『エコキッズメッセ』が開催されました。当日は、“環境にいいこと、楽しくまなぼう”と題し、環境をキーワードに企業、及び団体における環境問題に対する活動の紹介を通じて、次世代を担う子どもたちの環境教育をサポートする、という趣旨のもと、“エコ・ブース”や“ミニ環境教室”が開催され、また、電気自動車や水素自動車、ハイブリッドカーを“エコな乗り物大集合”として展示、試乗会も開催されました。

当社も“ガラスびん3R作戦”をテーマに、ガラスびんの製造工程や3R(リデュース・リユース・リサイクル)についての説明を行いました。そして多くの方にガラスびんの持つ環境特性を理解していただきました。

今後も本活動などを通じて当社がどのような製品づくりを行い、それが社会でどのように役立っているのか伝えていきたいと考えています。



『キッズニア甲子園』への参画

当社は、2009年3月にオープンした『キッズニア甲子園(所在地:兵庫県西宮市)』にオフィシャルサポーターとして参画しています。“リサイクルの優等生”であるガラスびんをテーマとしたパビリオン『ガラス工房』を展開することで、子どもたちに3R(リデュース・リユース・リサイクル)をはじめとした環境に対する考え方、“食の安全”に対する容器の重要性についての理解を深めてもらいたいと考えています。現在出展しているパビリオンでは、子どもたちがさまざまなお仕事体験で得た専用通貨(キッズ)を使って、ガラス製のコップやびんなどの素材に、世界でひとつしかないオリジナルデザインのガラスグッズを制作してもらうアクティビティを展開しています。立体的なガラスの表面に、子どもたちならではの豊かな感性・発想力を発揮してもらうことを期待しています。



環境学習プログラムの実施

当社、及び子会社(株)山村製壺所は、2003年度から、西宮市内の酒、カレット、金型、プラスチックケースの製造・流通各社と共に、NPO法人こども環境活動支援協会(LEAF)との協働で“持続可能な社会に向けた教育”を推進するためのプロジェクトを編成し、西宮市内の小・中・高等学校を対象に体験型の環境学習を実施しています。

このプロジェクトは衣・食・住・びん・エコ文具・エネルギーの6つの分科会から成り立っており、当社、及び山村製壺所はびん分科会に所属しています。びん分科会では、“西宮お酒とびんのものごと〜びんの一生”をテーマとし、以下の内容をねらいとしています。

- ・西宮のお酒とびんとの歴史的な繋がりや、その産業を支える人々の思いを伝えること。
- ・“酒のまち西宮”は“びんのまち西宮”であり、“西宮は環境を学び、環境を大切にすまち”であること。
- ・びんの循環のしくみと、びんの循環が環境にやさしいこと、及び環境にやさしくすることがなぜ必要なのかを伝えること。

2010年度は、西宮市内の小学校において上記をテーマとした体験型環境学習を実施しました。子どもたちには、びん分科会各社の説明を受け、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の大切さを学習し、びんの一生(リサイクル)を体験してもらいました。



各事業所周辺の清掃活動

各事業所では、敷地周辺の清掃活動を定期的に行っています。また、それ以外に瀬戸内沿岸クリーンキャンペーンや最寄りの駅周辺、及び近隣自治会の清掃活動などにも積極的に参加しています。

関西本社では、最寄り駅から当社までの歩道や歩道橋の清掃を定期的に行っています。

『あまがさきキャンドルイルミネーション』に寄贈

関西本社が所在する尼崎市の主催で、2010年12月に『あまがさきキャンドルイルミネーション2010』が開催されました。会場では、2,200本のキャンドルを使ったさまざまな作品が展示されたほか、コンサートなども行われ、大盛況となりました。

このイベントで使われたキャンドルを入れる容器として当社製品であるガラスびんを提供しました。当日の会場では、ご来場の皆様に幻想的な光景を楽しんでいただきました。当社はこれからも、地域の皆様とのふれあいを大切にしたいと考えています。



尼崎市より感謝状をいただきました。